

WHC(NSN共催)第7回講演会報告(1)

これからどうなる日本経済

10月8日、大泉学園ゆめりあホールにおいて標記講演会が、浜 矩子教授を講師に迎え、165名の参加者を得て開催された。日本経済の今後がどうなるのかは、各自の生活に直結する重大関心事である。

浜教授はまず、日本経済を予測するために必要な世界的・政治的ファンダメンタルズを、豊富な識見を基に「平易な言葉と簡潔な比喻」を用いて解説した。その上で、国家の政策は相互に関連し補完的であることは当然としても、現在の安倍政権の経済政策は、国家安全保障政策を完結するためのものであることを、首相自身が明言していることを指摘し、大いに問題で期待はできないと結論した。

個人によつて、講演内容への評価は微妙に異なると思われるが、経済政策は「人」を考へる政策である、とする言葉に反対する人はいないだろう。熱心な質疑が行われ、参加者数、内容共に充実した講演会であった。

(WHCクラブ 岡部)



講演される浜矩子教授

『受講した感想』

中国・米国・欧州・ギリシャ・難民等の世界の問題より入ったが、これは日本経済にも大きく関係して来る事と思っていた。アベノミクスの問題に話が移ったが、浜先生らしく選挙で選ばれた日本の首相を、アホノミクスと痛烈批判もいとわなかった。

たしかにアベノミクスの表裏一体論は、一般の人たちが希望も心配もしていることだろう。TPPやWTO等の問題も話題となったが、できれば私達シニアの心配である年金・老後の生き方等の問題を、もっと深くほりさげて話してほしかったと思う。

一貫して、浜先生の批判は平和ボケしている私達にとつて一石を投じてくれた。

(いちご会 菅原)

これから『ついの住まいの研究会』

本年8月で第3期『ついの住まいの研究会』が終了しました。修了者は1期生が16名、2期生が11名で、事務局を加えて30名での活動でした。

第1・第2期の研究会では、介護保険や高齢者向け住宅等の情報を得て、現在から終末期までの生き方・住まい方を一人ひとりが考える形を取りました。

第3期の研究会については、修了者と事務局が11月・来年1月・3月の第3木曜日に集まり、それぞれが実際に係わった高齢期に関連する体験などを語り合い、研究会の新たなあり方を皆で考えていく予定です。

NSN 20年の歴史の中で、皆さんがどのような思いや覚悟で定年後あるいは現役引退後の人生をお過ごしになり、NSN活動を通じてこれらのか、その思いや覚悟・体験などを順次お話しいただく中で、新しい『ついの住まい研究会』のあり方が見えてくるものと期待しています。

第3期では、『ついの住まいでの生き方・住まい方の掘り下げた議論をしたい』と思います。

(『ついの住まいの研究会 事務局』)

【ねりまシニアネットワーク（NSN）の歴史】⑤

ねりまシニアセミナー

ねりまシニアセミナーは、ねりまシニアネットワーク（NSN）の中心となる事業であり、その推移を紹介いたします。

平成4年にねりまシニアクラブが発足し、その翌年に第1回ねりまシニアセミナーを開催しました。平成7年の第2回セミナー以降は毎年開催して、平成27年は22回目の開催となり、毎年同期会を立ち上げ、地域の仲間づくりの場となっております。

講演を聞き、グループトークによって、思いを同じにする者が同期会を発足させるというスタイルは一貫しておりますが、その内容及び形態はそれまでの経験を参考にし、委員会で検討して、少しずつ変わっております。

大きく変わってきたのは日程です。第1回～6回は3日制、第7～17回は2日制、第18回～22回は1日ないし半日制となりました。当初は同期会の発足にあたり、十分に話し合うことが必要だという認識

が有りました。また、17回までは、「練馬を知る」講演も重要と考えました。しかし、近年はセミナーを仲間づくりの場としての意識で参加する方が増え、また練馬を知るのは同期会を作ってからであつても良いという機運が高まり、基調講演一つになつて、1日ないし半日制に変わってきました。

また、基調講演もシニアに関心のあるものを委員会で検討しておりますが、単に外部講師を探すのではなく、NSNの活動に沿ったものの方が良いのではないかととなり、第22回の講師はNSNの内部講師としましたが、好評でした。

なお、セミナー委員会の中で、重要な役割を担っているのは、最も新しく発足した同期会です。受講した経験を生かし、その企画力と実行力を発揮しております。

これからも、NSNの基本理念である「地域の仲間と共に 生涯現役のまちづくり」の推進力として、ねりまシニアセミナーは開催されていきます。

ねりまシニアセミナーの開催状況

※は基調講演

参加者	開催日・場所	講演題名	講 師
第1回 28名 ——	平成 5年(1993) 11月 光が丘区民センター	※お互いに知り合い、ふれあいを求めて	後庵 正治
第2回 38名	平成 7年(1995) 1月、3月 厚生文化会館	※くらしの基本設計 ・退職後の健康・維持・予防・相談	小黒 貴則 藤巻 洋子
第3回 22名	平成 8年(1996) 1月 区役所東館	※健康と生きがい、地域とのかかわり ・練馬区におけるシニア生涯学習	竹井 久弥 野々村恵子
第4回 48名	平成 9年(1997) 2月、3月 区役所交流会場	※おやじの出番 ・シニアを応援します	守永 英輔 司 葉子
第5回 41名	平成 10年(1998) 2月、3月 区役所交流会場	※中高年の健康づくり ・いろいろな女を演じながら	小野 三嗣 左 幸子
第6回 60名	平成 11年(1999) 2月、3月 区役所交流会場	※中高年の健康管理 ・出会い ・身体の健康、心の健康	内山 隆久 藤村 志保 中原ひとみ
第7回 65名	平成 12年(2000) 3月 区役所交流会場	※60歳からの生き生き人生	小杉山禮子

参加者	開催日・場所	講演題名	講 師
第 8 回 49 名	平成 13 年(2001) 3 月 区役所交流会場	※長寿社会の生き甲斐探し ・練馬を知る	瀬沼 克彰 伊藤 学
第 9 回 56 名	平成 14 年(2002) 3 月 区役所交流会場	※シニアライフの仲間づくり ・練馬の文化財	森 健 小金井 靖
第 10 回 50 名	平成 15 年(2003) 3 月 区役所交流会場	※新しい出会いと自分探し	春名 正昭
第 11 回 60 名	平成 16 年(2004) 3 月 区役所交流会場	※アクティブシニアの扉を開く ・地域を知ろう <高齢者と練馬区>	江見 康一 北原 豊
第 12 回 58 名	平成 17 年(2005) 3 月 区役所交流会場	※活き活きシニアで仲間づくり ・地域を知ろう <郷土練馬> ・シニアとおしゃれ	伊藤 美和 中村 理行 塙 芙美子
第 13 回 51 名	平成 18 年(2006) 3 月 区役所交流会場	※地域活動は高齢期の人生を豊かにする ・練馬を知る <江戸の野菜から現代の野菜へ>	鈴木 啓三 加藤 義松
第 14 回 42 名	平成 19 年(2007) 3 月 区役所交流会場	※歩いて見つけた <60 歳からの前進する生き方> ・わがまち練馬の新しい発見 <“ねりコレ”と観光スポット>	間宮 武美 佐々木克己
第 15 回 33 名	平成 20 年(2008) 3 月 区役所交流会場	※シニアライフは仲間と共に ・練馬の緑の 今、そしてこれから	藤井 敬三 浅井 葉子
第 16 回 50 名	平成 21 年(2009) 5 月 石神井公園区民交流センター	※最高の人生の見つけ方 <今年こそは何かしてみたい> ・練馬を知る <豊島一族と石神井城の落城>	渡邊 一雄 葛城 明彦
第 17 回 50 名	平成 22 年(2010) 5 月 石神井公園区民交流センター	※人との出会いは自分の幸せ <セカンドライフの挑戦> ・練馬の縄文人いきいきライフ <大泉井頭遺跡の発掘>	甘楽美登利 鷲田 芳夫
第 18 回 43 名	平成 23 年(2011) 5 月 石神井公園区民交流センター	※ゆうもあ・びっくり・面白写真	石黒 敬章
第 19 回 56 名	平成 24 年(2012) 5 月 石神井公園区民交流センター	※セカンドステージをどう生きるか、どう考えるか	竹内 奉正
第 20 回 42 名	平成 25 年(2013) 5 月 石神井公園区民交流センター	※21 世紀はユーモア時代	若林 一声
第 21 回 38 名	平成 26 年(2014) 5 月 石神井公園区民交流センター	※輝きのセカンドライフを拓く <第 2 の青春をアクティブに生きる>	角本 陽一
第 22 回 35 名	平成 27 年(2015) 5 月 石神井公園区民交流センター	※セカンドライフの人生設計 <“花も実もあるもうひとつの人生”を 地域の仲間と一緒に考えてみませんか>	角地 徳久

オープン参加行事のご案内

★シア テス 初心者教室

7人前後の教室の新設を計画しています。

(練習日)月1回で第2月曜日9時から2時間

(テニスコート)石神井松の風文化公園

(参加費)コート代(1,600円の頭割り)

指導料(参加者1人月1,000円)

右記は暫定案で、その他コートの抽選申込み、ボールの確保、教室の内容等も参加希望者と話し合つて決めたいと思います。

(申込)ひまわり 大貫 80805409 8783
ねりまシテアクラブ山本 83995527

★睦会 新春講演会

「西洋絵画の楽しみ方」

(日時) 1月10日(日) 14:00～16:00

(講師)小野寛子先生(練馬区立美術館学芸員)

(場所)石神井公園区民交流センター集会室

(会費) 500円(資料・飲物代)

(申込・問合せ) 睦会 横山 839043127

〔定例行事〕

☆ユーモアサークル

3分間スピーチにより、自然にユーモア感覚を体得しましょう。

(日時)奇数月第4月曜日 14:00～17:00

(場所)谷原出張所(高野台駅下車3分)の予定

(会費)300円(当日参加者)

(申込・問合せ)エルフ内藤 867602815

☆ミニブリッジを楽しむ会 ♡♡◇◇

コントラクトブリッジの前半(オークション)を省略・簡単にしたミニブリッジは、初心者もすぐ楽しめるゲームで、認知症予防にもなります。カードさえあればどこでも遊べます。

(日時)毎月第4水曜日 14:00～16:30

(場所)男女共同参画センター

えーる 3階 和室(小)

(会費)100円(当日参加者)

(申込・問合せ)ひとみ会 角地

839048005

☆話 飲(ワイン)の会

自由にお弁当を持ちこみ、飲んで食べて楽しくおしゃべりしましょう。

(月日)第1金曜日と第3水曜日が原則

(場所)コミュニティ・チャイナ光が丘

光が丘駅より徒歩5分。HP参照。

(参加費)500円。飲み物代含む。要予約。

ワイン・ビール・コーヒ―・紅茶

(申込・問合せ)四季会 吉村

80706559 39333

☆囲碁 愛好会

みんなで楽しく囲碁を！

(日時)毎月第2火曜日 13:00～17:00

(その他)日曜又は休日

(場所)サンライフ練馬 和室(2)・会議室

(会費)年500円

(申込・問合せ)まるく会 伊藤

80907415 3163

NSN定例運営連絡会 開催メモ

平成27年9月26日(土) 14:00～16:00
平成27年10月24日(土) 14:00～16:00
(討議内容等省略)

【編集会議に参加して】

編集会議に初めて参加させて頂き恐縮しました。NSN会報は今回で61号ですので、11年目に突入したようです。「十年一昔」と云われるように、構成内容や紙面レイアウト等のマンネリ化の為、見直しの時期に来ているように感じます。

私は「すばる」の会報担当です。会報作成の苦労は痛感しています。会報を発行するからには、読者の身になって編集することが大切であり、興味の無い内容やマンネリ化した内容では目を背けてしまいます。

ひとつの提案ですが、「会員のひろば」を「会員の声」に変え会員から自由な意見を投稿してもらい、賛同か反対の意見等も載せるなど活発な意見交換により、さらに会員間の意思の交流を深めてはどうかと感じます。

メロウ・メイツ すばる 猪俣俊美

【編集後記】

マンネリ化対策の一つとして、右記の提案は尤もであり、編集委員会でもそのような考え方が既に出ていて、4月号から3面に該当する欄を設けたいと考えております。さつそくご寄稿も届いておりますので、それに対してのご意見がいただけることを期待したいと思います。

(○山)